

その他の要件

1. 価格は適当か
2. アフターサービスが保障されるか（販売業者の選定）

イ 利用しやすい管理

管理方法には、集中管理と、分散管理の方法があるが、学校規模や保有台数によって、およそ次のように分けられる。

- ・小規模校や、保有台数が少ない場合——集中管理
- ・大規模校や、保有台数が多い場合——分散管理

なお、OHPの保全の立場からすれば、使用のつど、だれが、どれだけの時間使用し、その際のOHPの状況はどうであったかを記帳させるか、報告させるのがのぞましいのだが、使用する者にあまり細かな注文をつけると、使用するのがわずらわしくなり、かえって利用しなくなる。学校の実情をよくふまえた使用規制をしなければならない。

また、保有台数が少ない場合には、使用直前になって、使用者が、かち合うことのないように月別、あるいは、週別の使用計画を立てておくことも大切である。

ウ いつでも使える管理

㊦ 点検整備

○ 使用前点検

使用者は、授業前に、次のことを点検しておく必要がある。

- ・ランプが点燈するか
- ・ステージ、投映レンズに汚れはないか
- ・焦点調整はできるか

○ 使用后点検

使用者は、ステージや、投映レンズの汚れをおとし、コードやその他に異常のないことを確かめ、カバーをかけて、所定の場所に格納する。

異常がある場合は、管理担当者にそのことを報告し、管理担当者はできるだけそのつど修理しておくように心がける。

○ 定期点検

管理担当者は、少なくとも学期に1回は点検・整備するように、心がけなければならない。

定期点検では、次の要領で分解そうじや、不良品の交換をするとよい。

- | | |
|----------|--|
| ○ステージガラス | ——柔らかい布でふく。汚れがひどいときは、アルコールを含ませて。 |
| ○投映レンズ | ——写真機用プロアブラシでほこりを吹きとばす。汚れがひどいときは、ステージガラスと同じ。 |
| ○フレネルレンズ | ——ガーゼにアルコールを含ませて、軽くふく。 |
| ○光源反射鏡 | ——プロアブラシで。じかふきは禁物。 |
| ○ヒューズ交換 | ——規定容量のヒューズと。 |
| ○ランプ交換 | ——タイプ・型番をたしかめて。ランプは素手でつかまない。 |

① 消耗品の常備